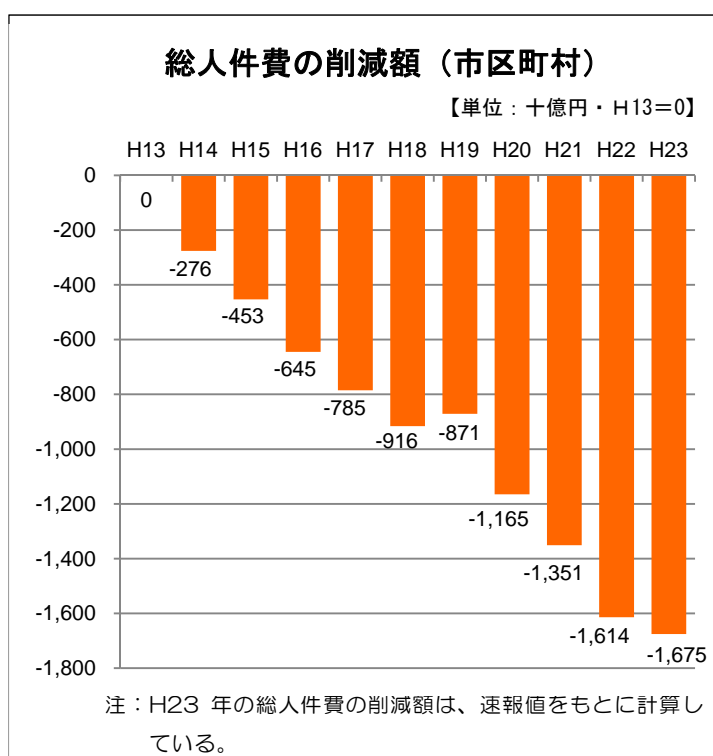
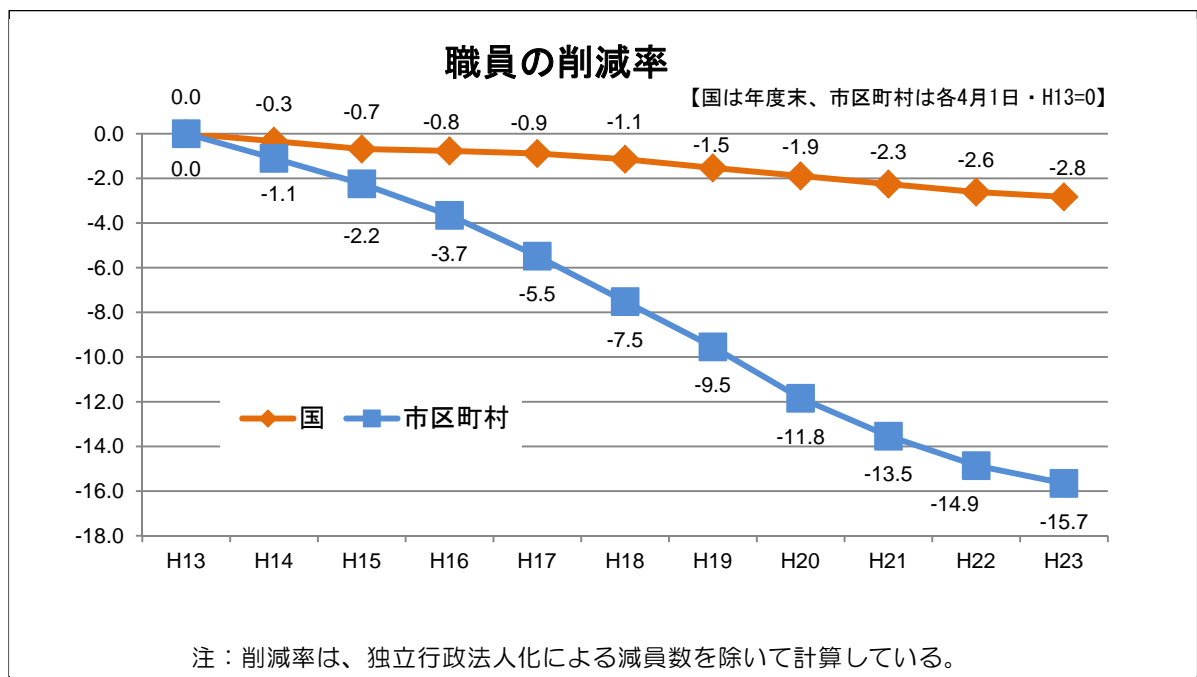


# 市区町村の総人件費を中心とした行政改革努力

## 1. 職員数・総人件費

- 市区町村の職員数（一般行政）は、平成13年度から10年間で **約13万人の削減（約16%減）**
- 市区町村では、職員数削減や給与削減などにより、総人件費で平成13年度と比較して平成23年単年度において、 **1.6兆円超を削減**
- 平成13年度から10年間の総人件費の累積削減額は **約9.8兆円**



○市区町村では、総人件費で平成13年度と比較して平成23年単年度において、1.6兆円超を削減。

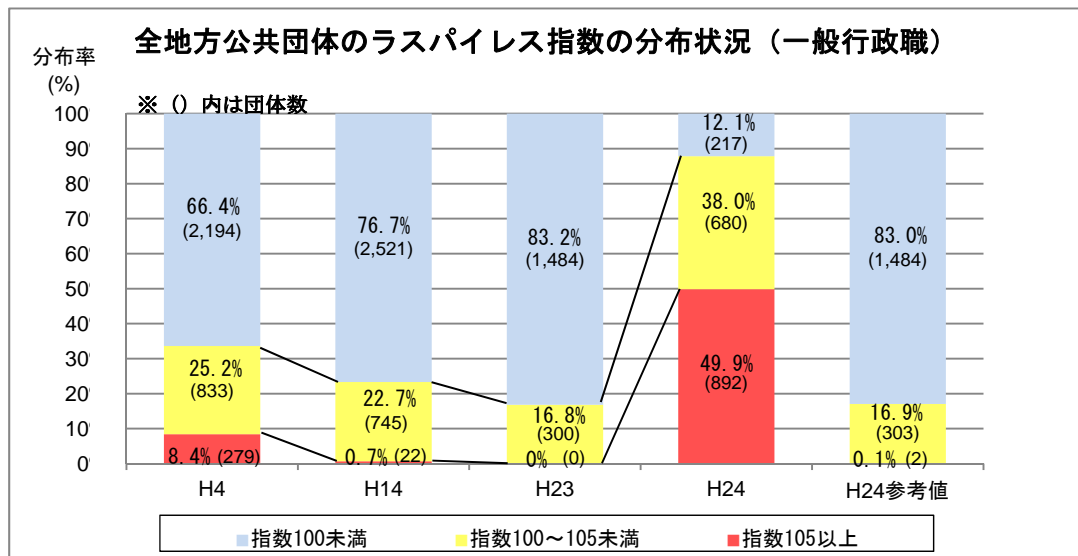
○平成13年度から10年間の総人件費の累積削減額は、約9.8兆円。

※一方、国における臨時特例措置による給与減額の効果は、2年間で約6,000億円のみ。

## 2. ラスパイレス指数

(H24 地方公務員給与実態調査結果の概要による)

- 平成 23 年度ラスパイレス指数は **98.9** であり、**30 年以上にわたり減少傾向**
- 平成 24 年度ラスパイレス指数が **107.0** となっているのは、2 年間臨時的に減額されている国家公務員との比較であり、**瞬間的な数値**
- 平成 24 年度**参考値**ラスパイレス指数は、前年度と同値の **98.9** であり、**全地方公共団体の 83%が、ラスパイレス指数 100 未満**
- ラスパイレス指数の算定方法の検証が必要



|                       | H 4       | H 1 4     | H 2 3   | H 2 4                       |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|-----------------------------|
| ラスパイレス指数<br>(全地方公共団体) | 1 0 2 . 5 | 1 0 0 . 6 | 9 8 . 9 | 1 0 7 . 0<br>※参考値 (9 8 . 9) |

※「参考値」は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

### <ラスパイレス指数の限界>

- ① 全国家公務員の7割以上が地域手当を受給しており、霞が関では、地方よりも高い18%の地域手当が支給されているが、ラスパイレス指数算定には反映されていない。一方、地域手当のある市区町村は、1,742 団体中約2割の390 団体（305市区、85町村）にすぎない。
- ② 国は局長などの指定職を除いて算定している。一方、地方は部長級まで含めて比較している。
- ③ 基準団体である国と比較団体との職員構成の相似の程度、比較団体の職員数の多少等によって、その反映の正確さの度合いは異なるものと考えられるが、国の職員構成を一律に用いて計算されている。

など